



2008年9月28日  
号外

民主党プレス民主編集部

〒100-0014  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話03-3595-9988 (代表)  
press@dpj.or.jp  
http://www.dpj.or.jp

# 明日の日本 生活が第一

代表選挙集会

## 小沢代表の3選を承認 政権交代の秋へ 新しい国民生活をつくる

2008年  
代表選挙集会  
(臨時党大会)  
が21日都内  
で開かれ、小  
沢一郎代表の  
無投票3選を正式に承認しました。



来賓として、福島みずほ社民党党首、綿貫民輔国民新党代表、田中康夫新党日本代表、高木剛連合会長、作曲家の三枝成彰さん、ジャーナリストの下村満子さん、京セラ名誉会長の稲盛和夫さんがそれぞれ、ともに政権交代を果たし政治を変えようと、挨拶しました。

次に、古川元久中央代表選挙管理委員長が小沢代表の無投票当選を報告、承認を求め、大会は万雷の拍手でこれを承認しました。

小沢代表は、これを受けて代表就任の所信を表明をしました。この中で、「私は、北海道から沖縄まで全国を18万キロ駆け回り国民生活の実態を見、国民の声を直接伺った。『何たることか。この人たちにこんな思いをさせて、本当に申し訳ない』。行く先々でそう思い、唇をかみしめた。介護ヘルパーが次々に辞める中、必死にヘルパーを続けたけれども、自分自身が「働く貧困層」になっている女性。地場産業の倒産でやむなく東京でアルバイトせざるを得なくなった若者たち。「灯油が高くてこの冬は越せそうにない」と立ちすくむお年寄り。いたるところで国民の暮らしも地域も壊れている。国民生活を守るセーフティネットを整備することなく、小泉政権以来、市場万能、弱肉強食の政治を推し進めた結果、日本社会は公正

が失われ、あらゆる分野で格差が拡大した。しかし、セーフティネットこそ、市場経済、競争原理が機能し、日本経済が持続的に発展するための大前提。この不公正な格差を放置すると、日本経済が機能不全に陥り、日本社会は崩壊する」と述べて、政治生命、政治生活のすべてを総選挙にかけると表明。また、政策実行の手順、財源を明確にすると明言しました。その上で、新しい国民生活をつくるのが民主党の使命だと訴えました。



さらに、小沢代表は、党役員人事はそのままとし、『次の内閣』の主要メンバーは、国民の関心も高いことからできるだけ早くに示したいと提案、万雷の拍手で承認されました。

### 常任幹事会 衆院選公認など追加決定

常任幹事会は24日、衆院選の公認候補者として福島2区に太田和美衆院議員(現・29歳)、愛媛1区に永江孝子さん(新・48歳・元アナウンサー)、長崎2区に福田衣里子さん(新・27歳・薬害肝炎九州原告団代表)を追加決定。また、公認内定候補として茨城2区に石津政雄さん(新・61歳・NPO法人理事長)、石川2区に田中美絵子さん(新・32歳・党県連副代表)、兵庫1区に井戸正枝さん(新・42歳・兵庫県議)、和歌山3区に玉置公良さん(新・53歳・和歌山県議)、高知2区に楠本清世さん(新・35歳・元会社員)を追加決定しました。

さらに、推薦候補として東京25区に真砂太郎さん(新・52歳)、熊本4区に松永真一さん(新・49歳)を決定しました。